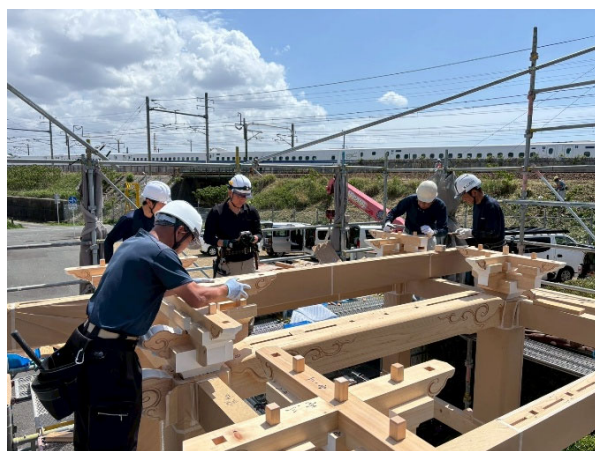




伝統技術で四脚門上棟
地域に新たな象徴



上棟の慶び
完成と安全を祈願



磐田市 連城寺様 四脚門新築
建て方及び上棟式

令和八年四月二十二日、静岡県磐田市の連城寺様（曹洞宗・馬場住職）において、四脚門新築工事の建て方ならびに上棟式が執り行われました。

当日は天候にも恵まれ、天峰の大工たちによる連携の取れた作業により、建て方は順調に進行。夕刻には馬場住職ご導師のもと、上棟法要が執り行われました。

ご住職による読経が境内に響き渡るなか、参列者一人ひとりが焼香し、上棟の慶びとともに工事の安全、そして建物の完成を祈願いたしました。

新たに建立される四脚門は、寺院の表玄関としての風格を備え、参詣者を迎える大切な役割を担うとともに、前任職が長年抱いてこられた願いを受け継ぎ建立されるものです。古来より受け継がれてきた社寺建築の技と意匠を礎に、木組みや細部の意匠に至るまで職人の手仕事を尽くし、格調と調和を備えた門として建立を進めていきます。また、周囲の景観や境内の佇まいに調和した、長く地域に親しまれる存在となることを期待しております。なお、工事期間中はご不便をおかけいたしますが、引き続き安全第一を心がけ、丁寧な施工に努めてまいります。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。